



▲▲▲▲ 情報コーナー ▲▲▲▲



●自分たちのしごとで なにができるか SDGS×KEEP 展示会

夏休みの観光客で賑わう八ヶ岳自然ふれあいセンターにて、『SDGS×KEEP 協会』じぶんたちのしごとをSDGS 目線で整理し、足元を考える をテーマに展示展を主催しました。

キープ協会は多種多様な仕事の集まる財団です。しごとを通じて地域や社会に貢献したい、その可能性を整理しなおし、まとめあげることで、自分たちが再認識する機会になりました。また、それを来館者の皆さんにも見ていただき、自分達のできることを考えてほしい、というねらいも掲げました。

具体的には、①清泉寮ホテルの自然エネルギー利用 ②レストランや売店の食材の地産地消 ③ジャージーのミルク生産では牛も人も健康な農場を目指すこと ④そのミルクで安心安全なオリジナル商品を届けていくこと など、観光地を舞台にキープは何ができるのか、目指すのかを再確認。また、地域の拠りどころ・ヨハネ保育園の運営や、未来の人づくり・環境教育、気候変動教育、そして教会の祈りの精神の継承なども位置づけました。そして、そのすべての恵みを支えている、八ヶ岳の豊かな自然、森、地下水を守り続けていくことも重要と位置付けました。

詳細がWEBにまとまっています、是非ご覧ください https://www.keep.or.jp/special-sdgs_01.html

●北杜市こども環境フェスタ・オンライン 今年も開催です！

北杜市地球温暖化対策・グリーンエネルギー推進協議会(グリーン北杜)主催のオンラインイベントが開催されます。“次世代を担う子どもたちが、映像を通じて地球温暖化問題や環境保全について楽しく学び、考える力を養い、地元への愛着心を育むことを目的として開催する「子ども環境フェスタ」。

北杜市の企業や団体、自治体と、あらゆるセクターが協力し合って、YouTube から見られる動画を配信します。お好きな時間、お好きな場所で、ご家族みなさまとぜひご覧ください。”

なお、センターも新しい動画で参画しました！ぜひご覧ください。

●詳細はグリーン北杜 WEB <https://www.greenhokuto.jp/wp/>



●12月18日開催『八ヶ岳エコハウスほくほく で 暮らしのヒントを探ろう！』センター主催

北杜市須玉町にある『八ヶ岳エコハウス ほくほく』は、八ヶ岳の南麓で再生可能エネルギー100%の暮らしをしたいとリノベーションしてできたエコハウスです。これまで、様々な世代が家での暮らしやワークショップを通して、暮らしや家づくりを考える場づくりが開かれています。家づくりは今も継続、そのノウハウを公開し、次に繋げるべく活動を展開されています。今回は、このエコハウスにおじゃまし、実際に家にふれ、お話を聞きながら、自分たちの暮らしについて考える、それを広めるアイデアを生み出す研修会を開催します。

ご興味ある方は、センターまでお問合せください。 <https://www.keep.or.jp/yccca/>



●1月10日開催『推進員研修会・気候変動の地元学を動かしたい人、はじめの一步』センター主催

今回の推進員研修会は、気候変動教育や気候変動の地元学で有名な、白井信雄さん(武蔵野大学工学部サステナビリティ学科/環境システム学科 学科長)を講師にお招きして開催します。最近の気候変動教育の動向や動き(適応や、緩和)、気候変動の地元学とは？ 地元学の各地域での事例紹介、山梨で・自分の暮らしの場で・どう動かすか、など、『気候変動対策×地域活性化』をテーマにします。会場は山梨県立図書館、オンラインとのハイブリット開催です。

こちらも、ご興味ある方は、センターまでお問合せください。 <https://www.keep.or.jp/yccca/>

発行:山梨県地球温暖化防止活動推進センター 公益財団法人キープ協会 <https://www.keep.or.jp/yccca/index.html>

〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545 やまねミュージアム内

TEL:0551-48-8011 FAX:0551-48-3577 mail:eco@keep.or.jp



つうしん 28 号

●第11期 山梨県地球温暖化防止活動推進員 委嘱式・研修会 を開催しました

9月1日、恩賜林記念会館にて、4年ぶりに開催の山梨県地球温暖化防止活動推進員の委嘱式が行われ、106名の方々がメンバーになりました。新規の方、20名も含めて、どうぞよろしくお願いします。

委嘱式では、長崎県知事からの委嘱状を、環境・エネルギー課・部長 関尚史さんから推進員に渡されました。また、活動の手引きを用いて、実際の活動方法や支援内容、各種関連機関について説明がありました。後半には、当センターの事業説明をさせて頂き、推進員への支援内容について詳しくお話ししました。

そして、研修会で一番の盛り上がりをもせたのが情報交換会です。27市町村の推進員と自治体の方が会場にいらっしやいまして、地域も立場も関係なく MIX でグループ作り。①自己紹介 ②コロナ時期はどうしていたか？ ③最近、こんな活動が再開してきたよ！ という3つのお題でディスカッションをしました。豊かな話題にあふれ、時間延長するくらいに話しておられました。司会のセンター長・鳥屋尾も、「顔を合わせて情熱と情報を交し合うのは大切な時間ですね、一緒にがんばって活動していきましょう！センターも支援させて頂きます」とまとめました。



●令和5年度 山梨県地域脱炭素ステップアップ講座(第2回) 取材報告

9月28日、山梨県自治会館にて、県内自治体の地球温暖化対策担当者を対象とした講座が開催され、地域の課題解決、地域の魅力と質の向上に資する地域脱炭素事業について検討する機会となりました。会場は、脱炭素の社会実装に向けて「今取り組まなければ！」という使命感あふれる空気に包まれていました。

講座は、『一般社団法人再生可能エネルギー地域活性化協会』の活動紹介から始まり、太陽光 PPA や再エネの地産地消、ZEB・ZEH、EV、ソーラーシェアリングなど各社の脱炭素技術をプレゼン。また、事業者が自治体に求めることとして、複数自治体による連携や住民の理解醸成などを具体的に明示されました。

後半は、自らの地域で脱炭素実現の取り組みを検討するワークショップ。地域の課題や強み、環境省の『自治体排出量カルテ』を参考に現状を書き出し、他の自治体と意見交換する中で、自らの地域を多面的に捉えてアイデアを整理しました。善いポイントとして、その取り組みを通じて地域課題の解決にまで考えを巡らせる案が多かったです。

最後に、講師より

「地域脱炭素は大きなチャレンジでありチャンス！」実現のためには、「地域社会の変革」「組織の変革」「個人の変革」が必要とのエールが。

地域脱炭素は、事業者×自治体×市民×… と、連携してはじめて実現することだと感じました。地域住民一人一人の力も不可欠。地域の脱炭素の取り組みが活発になることを願って、共に地域脱炭素の世界を創っていきましょう。



エコ×エネゼロカーボンキャンプ

2023年
7/15~17
(土)(月・祝)

自然エネルギーのぐるぐるに学ぶ ゼロカーボン時代の暮らし方★

山梨県立
八ヶ岳自然
ふれあいセンター
と周辺の森

15日の回に
参加した
リスがいます!

地球の中で
いろいろな
エネルギーが
循環しているよ!

人が自然と
うまくつながら
ながら、賢く
エネルギーを
使うには?

楽しい!おもしろい!
不思議!なぜ?
を大セリに!!

山梨県内の
小中学生が
集いました!
(各回15名)

- 9:30 集合・1体馬乗のじゅんぎょ
- 10:00 はじまりの会
- 10:30 のぞいてみようEVのあるキャンプ
- 11:00 森のエネルギーのぐるぐるさがし
- 12:00 お昼ごはん 地産地消!!
ジャージーおやつタイム
- 13:00 快適!森のヒミツ基地づくり
空気や水の流れなども考えて☆
- 14:45 ヒミツ基地見学会 おうちのひと
- 15:10 未来のくらしをみんなで考えよう
- 15:30 おしまい



山梨県
地球温暖化防止
活動推進センター長
鳥屋尾 健



ぼうし(あれば防水)

雨の森にいく
身じたくも
バッチリ!

上下レインウェア
長ぐつ

レインウェアズボンのすそは、長ぐつの外に!

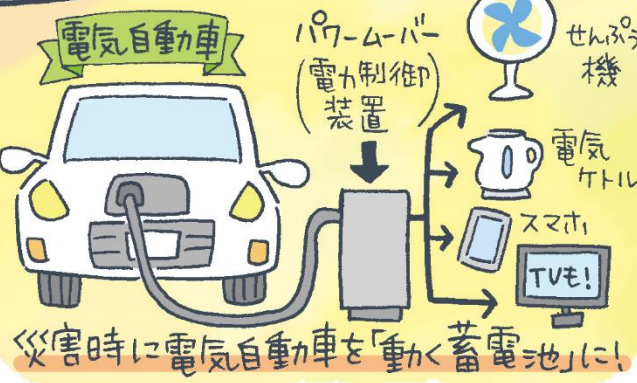
のぞいて みよう EVのあるキャンプ



高橋さん

30年で、電話も
3から10へ!
自動車も未来へどんどん
変わっていくよ!

発電もCO2ゼロへ!!
ソーラー 水力 風力



災害時に電気自動車を「動く蓄電池」に!



『電気自動車』に
充電体験!



松田さん

森のエネルギーのぐるぐるさがし!



森のヒミツ基地づくり!



太陽・
水・風力など
自然エネルギーの
循環を体感しよう!



参加してくれた子の感想!
木で作った家に3人も入って
びっくり! 災害時に電気
自動車で電気が使えて
すごいと思ったよ。

【おうちの人の感想】
泥まみれで遊ぶ楽しさを満喫できた様子
です。停電時に
電気自動車でもスマホが
充電できると教えて
くれました!